

**CT-RS、店頭受付ソフト
iPhone対応
説明資料**

1. 概要

iPhoneとCT-RS(または店頭受付ソフト)を接続して、カメラロール内の画像ファイルを読み込んでオーダー受付処理する機能です。

※ カメラロール内のJPEG画像に限ります。

※ 対象となるiPhoneは以下のとおり。

iPhone 3G、3GS

iPhone 4、4S

2. 対応製品および対応時期

<対応製品>	<対応バージョン>
CT-RS	3.02以降
店頭受付ソフト	10.02以降

※ CT-SLは非対応です。(今後の対応予定もなし)

※ 店頭受付ソフトでサポートしているWindows2000では、本機能は対応していません。

3. システム構成

iPhoneとCT-RS(または店頭受付ソフト)を“Dockコネクタ”を使用して接続します。

※ Dockコネクタは、お店にてご用意頂く必要があります。

※ Dockコネクタは、メディアリーダーには接続せず、PC本体のUSBコネクタに接続してください。

4. 操作方法

オーダー受付手順

「オーダー受付手順」参照。

5. 制限事項

- 1) iPhoneでの撮影の向きにより、CTの受付画面及びプリント出力において、画像が天地反転する場合があります。

【発生した場合】

受付画面で画像を180度回転頂く必要があります。

(補足)

iPhoneに限らず、既存対応しているデジカメメディアでの受付でも同様の症状が発生します。しかしながら、iPhoneを使用して写真を撮影している人は、iPhoneの上下左右向きを気にする必要がないため、上記症状が発生しやすくなります。

⇒ 撮影時、常に頭が上(正立)になるのですが、撮影画像は逆さまで保存されるためです。

5. 制限事項

2) 画像を選択して注文する際に表示される「撮影日付選択画面」において、表示される日付「年」は、iPhoneの設定(※)により変化する為、接続されるiPhoneによっては、以下のようなフォルダ名称で表示されます。

(例えば、「2011年10月21日」の場合)

<iPhoneの設定>	<表示されるフォルダ名称>
西暦(2011年)	2011/10/21
和暦(平成23年)	23/10/21
タイ仏暦(BE2554年)	2554/10/21



5. 制限事項

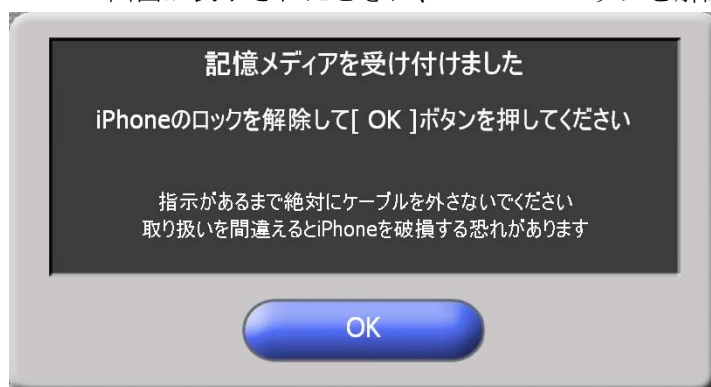
- 3) 「データコピー」機能には対応していません。
iPhone内のフォルダ構成が不明(未公開)な為、厳密なデータの
コピーが実現できない為です。

オーダー受付手順

1. 注文するプリントサービスを選択します。
2. お手持ちの iPhone を接続します。
⇒ 受付機側に” Dock コネクタ” がありますので、それに iPhone を接続します。



3. iPhone の接続が認識されると受付確認画面が表示されます。
⇒ この画面が表示されたときに、iPhone のロックを解除してください。



4. 撮影された月単位（または日単位）で画像を読み込みます。※1



※ 1： オーナー画面の「初期設定」－「画面表示」タブにある、「撮影日付選択画面」が”有効”になっている場合です。

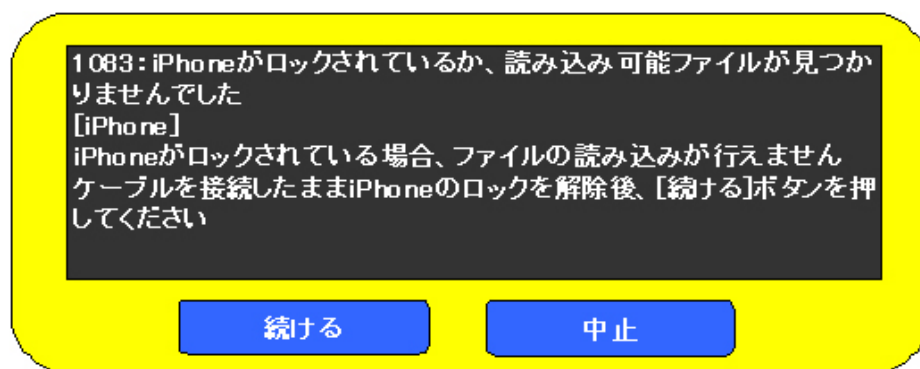
5. もう一つメディアがある場合は、”メディアを追加する。”を選び、無い場合は、”次に進む”をクリックしてください。



6. プリントサイズを選択します。
7. 以降の手順は、今までどおりですので、取扱説明書をご参照ください。

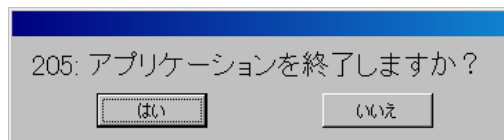
<補足事項>

1. iPhone からの受付機能は、有効/無効の切り替えが可能です。
切り替え設定は、オーナー画面の「初期設定」－「機器」タブにある”iPhone 受付”で行います。
チェックあり：有効（初期設定はこちらです）
チェックなし：無効
2. iPhone のロック機能の設定によっては、受付機に iPhone を接続してプリントサービス注文する際に以下の画面が表示される場合があります。iPhone のロックを解除して、”続ける” ボタンをクリックすれば、処理を継続することができます。



プログラムバージョンアップ手順

1. Windows のデスクトップ画面を表示させます。
 - 1) 「オーナー初期画面」を表示させます。
 - 2) 「アプリケーションの終了」ボタンをクリックします。
 - 3) 「アプリケーションを終了しますか？」が表示され、「はい」ボタンをクリックします。

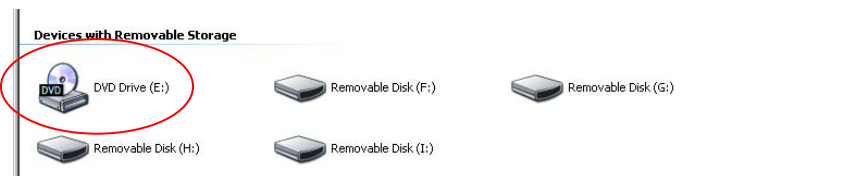


- 4) 店頭受付のアプリケーションが終了し、Windows のデスクトップ画面が表示されます。
2. CT-RS (または店頭受付ソフト) のプログラム CD をコンピュータの DVD (または CD-R/RW) ドライブにセットします。

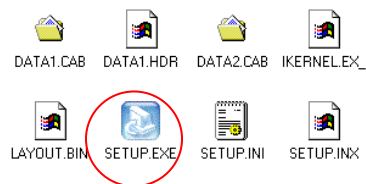
3. CD-ROM 内の「Setup.exe」のパスを設定します。

(例) CT-RS の場合

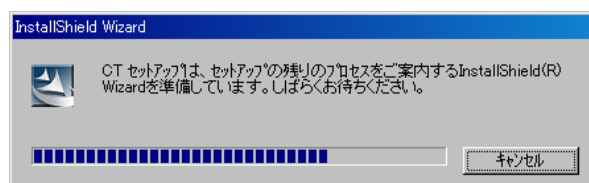
- 1) デスクトップにある「My Computer」をダブルクリックします。
- 2) 「DVD Drive」をダブルクリックします。



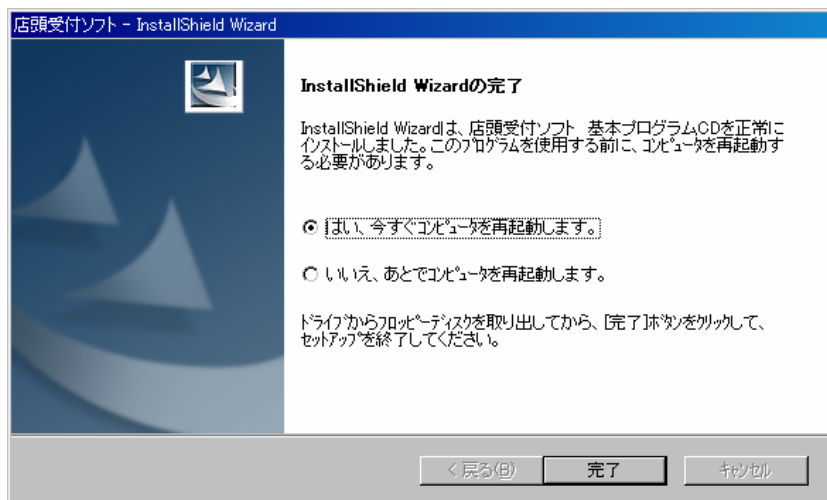
- 3) 「Setup.exe」をダブルクリックします。



4. インストールの準備が始まります。



7. インストールが完了すると、以下の完了画面が表示されますので、CT-RS（または店頭受付ソフト）のプログラム CD をコンピュータの CD-R/RW ドライブから取り出し、”はい、今すぐコンピュータを再起動します。”を選択して、画面下の「完了」ボタンをクリックします。



8. 以上で、CT-RS（または店頭受付ソフト）のプログラムのインストールは終了です。
9. QSS 店頭受付ソフトをお使いの場合は、引き続き「QSS店頭受付ソフト Ver. 10.02（iPhone 対応）インストール後の追加設定手順」の作業を行ってください。CT-RS をお使いの場合は、必要ありません。

QSS 店頭受付ソフト Ver.10.02 (iPhone 対応) インストール後の

追加設定手順

1. Bat ファイルの実行

Bat ファイルは、当ページにある iPhone.bat ファイルをダウンロード（画面上で iPhone.bat にカーソルを合わせて右クリックし、「対象をファイルに保存」を選択）し、QSS 店頭受付ソフトのバージョン 10.02 がインストールされているパソコンのデスクトップへ保存してください。

注) この Bat ファイルは、QSS 店頭受付ソフトのバージョン 10.02 がインストールされているパソコンに対して有効です。

- (1) QSS 店頭受付ソフトを終了してください。
- (2) iPhone.bat をダブルクリックにて実行してください。
- (3) パソコンの再起動を実施してください。
▶ アプリケーションではなく、必ずパソコンの再起動を実施してください
- (4) 設定は以上で終わりです。

セキュリティソフトなど、お客様のパソコン環境により、Bat ファイルにて上手く設定できない場合があります。

その際には下記の手動での設定を行なってください。

2. 手動にて設定を行なう場合

- (1) QSS 店頭受付ソフトを終了してください
- (2) 「ctml」フォルダを開きます。
「マイコンピュータ」→「オーダーデータを保存するドライブ (例:C)」→
「noritsukoki」→「ctml」

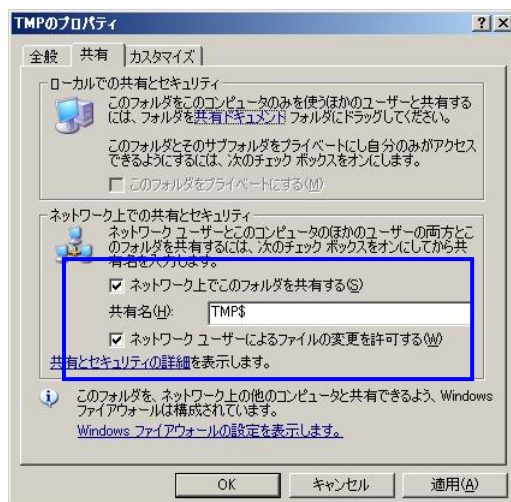
- (3) 「ctml」フォルダ内に「TMP」フォルダを作成します。



- (4) 作成した「TMP」フォルダを右クリックし、「共有とセキュリティ」をクリックします。
- (5) 「TMP」フォルダを共有に設定します。

◆ Windows XP Home Edition の場合

- ① 「ネットワーク上での共有とセキュリティ」の「ネットワーク上にこのフォルダを共有する」と「ネットワークユーザーによるファイルの変更を許可する」にチェックを入れます。
- ② 共有名を「TMP\$」に変更します。
- ③ 「適用」ボタンをクリックし、「OK」ボタンをクリックします。

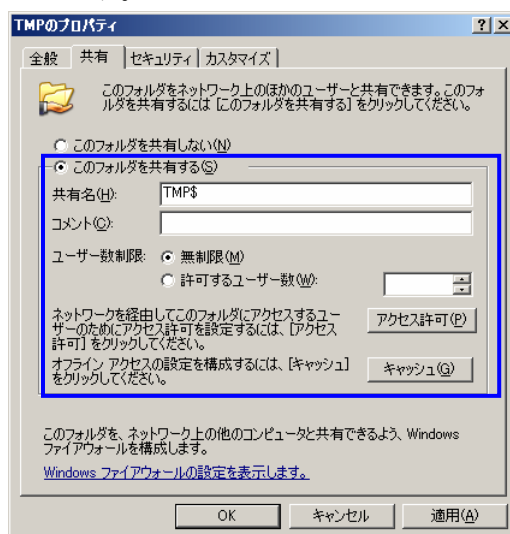


◆ Windows XP Professional Edition の場合

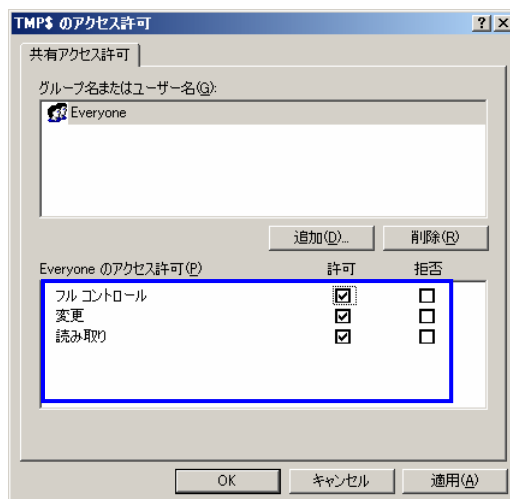
「簡易ファイルの共有を使用する」の設定になっている場合は、Windows XP HomeEdition と同じ手順になります。

- ① 「このフォルダを共有する」を選択します。
- ② 共有名を「TMP\$」に変更します。

- ③ 「適用」 ボタンをクリックし、「アクセス許可」 ボタンをクリックします。

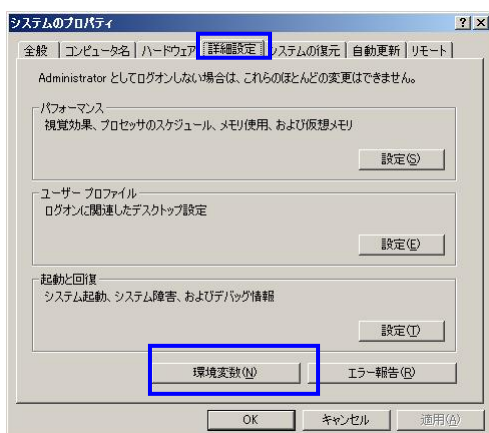


- ④ 「アクセス許可」 を設定します。
- ⑤ 「TMP\$のアクセス許可」 画面で、「フルコントロール」 を許可にチェックを行ないます。
- ⑥ 「適用」 ボタンをクリックしてから、「OK」 ボタンをクリックします。



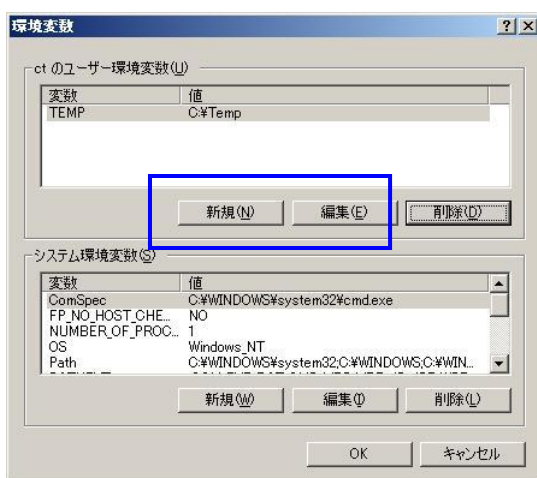
- (6) 「OK」 ボタンをクリックします。
- (7) 「マイコンピュータ」 を右クリックし、「プロパティ」 を選択します。

- (8) 「システムのプロパティ」画面の「詳細設定」タブ内にある「環境変数」ボタンをクリックします。

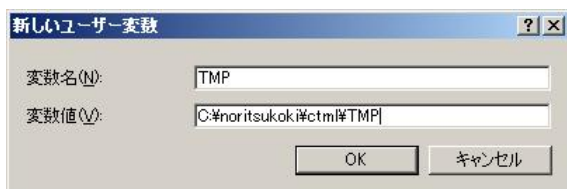


- (9) ユーザー環境変数に「TMP」が存在しない場合は「新規」をクリックし、存在する場合は「TMP」をクリックし、「編集」ボタンをクリックします。

- 間違っても「TEMP」を選択しないでください。
- インストールマニュアルには「TMP」は削除とありますが、iPhone 受付には「TMP」を使用します。



- (10) 変数値データを(3)で作成したフォルダパスに変更し、「OK」ボタンをクリックします。(例 C:\¥noritsukoki¥ctm\¥TMP)



- (11) 「環境変数」画面に戻りますので、「OK」ボタンをクリックします。
- (12) 「システムのプロパティ」画面の「OK」ボタンをクリックし、「システムのプロパティ」画面を終了します。
- 設定は以上で終わりです。